

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2023-24 年度 大宮西ロータリークラブ 週報



世界に希望を生み出そう



創立:1963年3月22日

例会場:パレスホテル大宮

例会日:月曜日12:30~13:30

会長 藤嶋 剛史

幹事 横溝 一樹

クラブ会報委員会 竹ノ谷純宏

第2812例会 2024/03/11

発行日 2024/03/18

会長挨拶



会長 藤嶋 剛史

本日は3月11日、東日本大震災から13年が経ちました。

いま例会の様態を撮影していただいておりますが、私は当時さいたま商工会議所(YEG)の広報委員長として、同じように例会や事業の撮影をして

いました。その一環として仙台で行われたYEGの全国大会に参加し、会場で参加者が楽しく盛り上がる様子をカメラにおさめましたが、そのわずか数週間後にその会場が遺体安置所になったと聞いたときは大きな衝撃を受けました。その後、福島から避難してきた人たちのためにYEGとJCがさいたまスーパーアリーナで炊き出しを行ったのですが、それが縁で青年団体同士が有事の際に力を合わせ、地域のために動けるようにと協力体制が生まれたという出来事がありました。

今年は能登半島地震から始まりましたが、100年と数カ月前には関東大震災があり、それは米山梅吉氏が東京RCを作って3年後の事でした。その時、壊滅状態になった東京へ世界各地のロータリアンから莫大な支援が届き、それがきっかけで東京RCは奉仕の精神に目覚めたと言われています。そのように大災害など大変なことが起こり、それを乗り越えたときに生まれるものがあると思います。そしてその原動力となるのは、関東大震災でも世界中から寄せられた、他者を思いやる「利他の心」ではないでしょうか。

本日は米山月間にちなんだ卓話ですが、米山奨学事業も日本のロータリーが戦争を乗り越えて、生まれた平和のための事業です。卓話者のキムソンヒョンさんは私が地区米山部門委員長の際に学生リーダーをお願いした方ですが、それにはあるきっかけがありました。米山奨学生になってすぐにクモ膜下出血でなくなった中国の男性学生がいたのですが、当時はコロナのため母国からお母さんも来れないような状況で、そして彼には奥さんがいたのですが、日本に一人取り残され、悲しみにくれてどうしたらよ

いかもわからないような状態でした。米山部門では少しでも支援できるようカンパを集めたのですが、その時キムさんは5千円も出してくれて、「私たちのいただいているお金は、こういう時にも役立てたいのです」と言ったそうです。私はこの事を人づてに聞いたのですが、彼女の「利他の心」に胸を打たれ、リーダーをお願いしようと心に決めました。その後キムさんには米山部門セミナーで学生代表スピーチをしていただいたのですが、皆が絶賛する素晴らしい内容で、いつかクラブの皆さんにも聞いてもらいたいとずっと思っていました。今日はこの例会で、ぜひ米山記念奨学事業の「意義」を感じていただき、それがクラブの米山の活性化につながり、そしてロータリーの目的である、国際理解・親善・平和の推進の一助となれば幸いです。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

佐藤 真義会員



お客様紹介、米山記念奨学生紹介

■国際ロータリー第2770地区 米山学友
キム ソンヒョン様
(ご紹介: 副会長 染谷 義一)



幹事報告



幹事 横溝 一樹

1. ご案内しております4月18日(木)開催「能登半島地震チャリティゴルフコンペ」のお申し込みは3月28日まで受け付けております。ご希望の方は事務局までお願いいたします。
2. 3月16日能登半島地震支援

募金のご案内を配布いたしました。「おおみや鉄道の日」というイベントも駅で行われているようなので、皆さまお立ち寄りください。

把手共行 ~分かち合おう、共にロータリーの感動を~

事務局:さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com

HP: http://rc-omiya-west.com/

